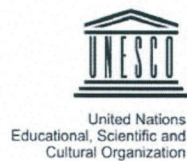


FOR WOMEN IN SCIENCE



L'ORÉAL

2009 年度

第 4 回「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」

応募要項

日本ロレアル株式会社
(<http://www.nihon-loreal.co.jp>)

第4回「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」募集のお知らせ

はじめに — ロレアルグループとユネスコが推進する女性科学者のためのプロジェクトとは？

パリに本社を置くロレアルグループと国連専門機関のユネスコは、世界の女性科学者の業績を称えるとともに、同分野で活躍する女性たちの世界レベルでの更なる飛躍と地位向上を目的に、1998年に共同で女性科学者を支援するプロジェクトを創設しました。

同プロジェクトには次の3つのカテゴリーがあり、プロジェクト1、2は、いずれも世界規模で展開しています。全プロジェクトを通じて、これまでに500名以上(2008年現在)の女性科学者が表彰されました。

1. 「ロレアルーユネスコ女性科学賞」：受賞者57名

世界の科学の発展に寄与した女性科学者の業績を称えるものです。日本からは、2000年に分子生物学の草分け的存在で、DNAの不連続複製「岡崎フラグメント」で知られる岡崎恒子氏(名古屋大学 名誉教授)が、2005年に物理学者 米沢富美子氏(慶応義塾大学 名誉教授)が、アモルファス半導体および液体金属の先駆的理論とコンピューター・シミュレーションによる解明の功績により、それぞれ受賞しています。

また、2009年には化学者 小林昭子氏(日本大学文理学部化学科教授、東京大学名誉教授)が世界で初めて、単一分子性金属の設計と合成に成功し、分子性伝導体の開発研究への多大な貢献により、新たに受賞が確定しています。

2. 「ロレアルーユネスコ奨学金」：受賞者120名

博士課程または博士研究員レベルの若手女性科学者が、自国以外の希望する研究・教育機関で二年間研究できるよう奨励し、助成しています。

3. 「ロレアルーユネスコ国内賞」：受賞者340名

ロレアルグループでは、現在、世界35カ国において、同プロジェクトの理念を継承し、博士課程や博士研究員レベルの若手女性科学者が国内の研究・教育機関で一年間研究を継続できるよう奨励し、助成しています。

「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」は、この3つめのカテゴリーに位置づけられるもので、ロレアルグループの日本法人である日本ロレアル株式会社が日本ユネスコ国内委員会の協力のもと、2005年11月に創設しました。

これまでに12名の女性科学者が受賞しています。

なぜ、ロレアルグループとユネスコとの共同創設賞なのでしょう？

ロレアルグループは、1909年の創立当初から研究活動を最重要視し、化粧品科学を一つの独立した科学分野へと育て上げてきました。また、女性研究者を積極的に登用しており、約3,000人の研究者のうち、女性が占める割合は、55%以上にも上ります。一方、ユネスコも、女性の科学への参画を優先課題に掲げ、数多くのプログラムを推進しています。こうした共通の理念のもと、ロレアルーユネスコの共同プロジェクトは創設されました。

「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」を通じて、生命科学および物質科学の分野において、研究意欲に溢れる若手女性科学者の研究を助成し、日本の将来の科学の発展に寄与していきたいと願っています。

多くの方々のご応募をお待ちしております。

「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」事務局

【ロレアルグループについて】

ロレアルグループは、1909年にパリで化学者によって設立され、世界130カ国・地域で事業を展開し、63,000人の従業員を擁する世界最大の化粧品会社です。「ヘレナ ルビンスタイン」「ランコム」「シュウ ウェムラ」「キールズ」「イヴ・サンローラン」「ロレアル パリ」「ロレアル プロフェッショナル」「メイベリン ニューヨーク」など25の主要ブランドをグローバル規模で展開しています。2007年度の売上高は約2兆7,000億円で23期連続二桁増益を達成。2009年には、創立100周年を迎えます。

日本においては、1963年から事業を開始し、1996年に日本法人である**日本ロレアル株式会社**が設立されました。2,200人の従業員を擁し、化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。現在、上記のブランドを含め18のブランドを取り扱っています。研究開発拠点を25年前以上から置き、日本ロレアルの設立を機に「日本ロレアル研究開発センター」(川崎市・溝の口)として統合しました。現在、フランス以外で初めて基礎、応用、開発の全段階に関わる研究を行っています。

【ユネスコについて】

1945年に設立されたユネスコ(国際連合教育科学文化機関)は、本部をパリに置き、諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じ、国際平和と人類の福祉を促進することを目的とした国際連合の専門機関です。2007年現在の加盟国数は193カ国あり、また世界52カ所に地域事務所を置いて活動を展開しています。ユネスコ事務局長には、1999年から松浦晃一郎が就任しています。

日本では「ユネスコ活動に関する法律」に基づき、文部科学省の特別の機関として**日本ユネスコ国内委員会**が設置されています。日本ユネスコ国内委員会は、教育、科学、文化等の各分野を代表する60名以内の委員で構成され、日本国内におけるユネスコ活動の基本方針の策定、ユネスコ活動に関する助言、企画、連絡及び調査等を行っています。日本ユネスコ国内委員会事務局は文部科学省に置かれ、文部科学省国際統括官が日本ユネスコ国内委員会事務総長を務めています。

第4回「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」応募要項

1. 趣旨

世界規模で展開するロレアルーユネスコの女性科学者を支援する共同プロジェクトの理念を継承し、将来を担う日本の若手女性研究者が研究を継続できるよう、奨励しています。当賞は、国外で研究を行うことができる「ロレアルーユネスコ奨学金」とは異なり、国内の教育・研究機関において研究を継続できるよう支援するものです。

2. 対象

生命科学、物質科学の分野において、博士課程(後期課程)に在籍あるいは、博士後期課程に進学予定の40歳未満*の女性を対象とします。

*下記、応募締切日現在、40歳未満で交付後1年間、国内で教育・研究に従事できる方。留学生は対象外とさせていただきます。

3. 奨学金授与の件数

生命科学、物質科学の分野からそれぞれ1年2件(2名)、計4件(4名)を選考し、受賞者にそれぞれ賞状および、奨学金100万円を贈呈します。

4. 受付期間

2008年11月17日(月)から2009年2月28日(土)まで(締切日の消印は有効とします)

5. 応募方法

封筒に、「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」応募書類と必ず明記の上、下記必要書類を「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」事務局 宛に郵送ください。

e-mailでの応募は受け付けておりません。応募書類は返却いたしませんのでご了承ください。

(1) 必要応募書類

- 応募申請書 2部
応募要項(PDF)および応募申請書・指導教員からの推薦状(word ファイル)は、日本ロレアルホームページ<http://www.nihon-loreal.co.jp>の **第4回「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」応募者募集**からダウンロードできます。
- 履歴書(身分証明書サイズの顔写真貼付) コピー可 2部
- 指導教員からの推薦状 2部
- これまでの研究内容の概要(A4版 2頁以内) 2部
*および別添(A4版 1頁以内)に、研究タイトルとアブストラクトを日英で併記ください(和文500字/英文200 words)
- 今後一年間の研究題目とその概要および今後の展望(A4版 2頁以内) 2部
- 発表論文リスト(口頭発表含む) 著者名は可能なかぎり全員記載 2部
- 論文別刷(コピー可) 各2部
①既刊および刊行予定の論文(Acceptance Letter 添付) 3編以内 ②学会発表論文(アブストラクト)
*上記①、②に該当する書類がない場合、修士論文で代用可
- 官製はがき(返信先住所・宛名を必ず明記ください) 1枚

(2) 書類送付先

「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」事務局 宛
〒163-1071 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー
日本ロレアル株式会社
コーポレート・コミュニケーション本部

(3) お問い合わせ先

fwis-japanfellowships@jp.loreal.com

6. 選考

2009年半ばまでに選考委員会により選考のうえ、採否をご連絡します。

7. 発表

2009年に東京で開催予定の授賞式にて発表させていただきます。

**2009 年度 第 4 回「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」
応募申請書**

(日付) 年 月 日

①研究分野 該当分野を○で 囲むこと。	生命科学	1)理学	2)農学	3)医学	4)薬学	5)その他	
	物質科学	1)物理学	2)化学	3)地学	4)工学	5)その他	
②氏名 (フリガナ)		Ⓜ					
③生年月日		(西暦) 年 月 日 (歳)					
④自宅連絡先		(住所) 〒 (電話) (携帯) (FAX) (e メールアドレス)					
⑤所属大学連絡先		(住所) 〒 (電話) (FAX) (e メールアドレス)					
⑥所属大学・学部・学科		(大学名) (学部名) (学科名)					
※⑦指導教員推薦状 (添付書式を使用のうえ、封印して郵送ください)							
⑧指導教員連絡先		(氏名) (役職名) (大学名) (学部名) (学科名) (住所) 〒 (電話) (FAX) (e メールアドレス)					
※⑨履歴書 (顔写真貼付) コピー可							
※⑩これまでの研究内容 (A4 2 頁以内 添付) および別添(A4 版 1 頁以内)に、研究タイトルとアブストラクトを日英で併記 (和文 500 字/英文 200 words)							
※⑪今後 1 年間の研究題目と概要および今後の展望 (A4 2 頁以内 添付)							
※⑫発表論文リスト (口頭発表含む)を添付 著者名は可能なかぎり全員記載							
※⑬下記論文別刷 (コピー可)を添付 ①既刊および刊行予定の論文(Acceptance Letter を添付) 3 編以内 ②学会発表論文(アブストラクト) 上記①、②に該当する書類がない場合、 <u>修士論文で代用可</u>							
⑭官製はがき (1 枚同封) 返信先住所・宛名を必ず明記ください。							

注 1) ※印の書類は、各 2 部ご用意ください。

注 2) 官製はがきは、1 枚のみご用意のうえ、返信先住所・宛名を必ず明記ください。

**2009 年度 第 4 回「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」
指導教員による推薦状**

(日付) 年 月 日

①指導教員連絡先	(氏名) (役職名) (大学名) (学部・学科名) (住所) 〒 (電話) (FAX) (eメールアドレス)
②応募者氏名 (フリガナ) (3名まで)	
③推薦理由	
④応募者の研究姿勢・研究の進捗状況、専門的知識・技量、着想力・創造力、将来性などについてご記入ください。 また、研究の独創性・特色も明記してください。	

- 注1) 一人の指導教員につき、ご推薦いただく学生は**3名まで**とする。
- 注2) 外部研究機関にて研究を行っている場合は、直接指導を受けている当該機関の教員からの推薦も可能です。
その場合は、学生証コピーまたは、所属大学・大学院の在籍証明書を添付してください。
- 注3) 本推薦状は、審査の重要な資料となるので、当該応募者についてできるだけ具体的かつ明確にご記入ください。
- 注4) 本推薦状は、本書以外に新たに用紙を加えることはできません。
- 注5) 本推薦状を封印のうえ、ご郵送ください。

応募者の方へのアンケートのご協力をお願い

今後の参考として、お手数ながら、下記アンケートへのご回答にご協力ください。

- 「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」を何でお知りになりましたか。
該当項目に○印をしてください。（複数回答 可）

○印欄	項目	学会・雑誌名など
	知人からのご紹介	
	大学の掲示板	
	大学のホームページ	
	大学の事務からのご紹介	
	大学の先生からのご紹介	
	学会のホームページ	学会名
	学会誌	雑誌名
	新聞・雑誌	新聞・雑誌名
	その他	

- その他のご意見・ご要望

ありがとうございました。

「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞」事務局